

参考資料 - 6 植生・地層調査のうち、植生に関する調査結果

測線R-1 植生調査結果（中～高木対象）

右岸

右岸肩から方形区 中心までの距離(m)	ヤチハンノキ (本)	ヤチハンノキ 立枯れ(本)	その他 (本)	備 考
25	6	2		・周辺にはホザキシモツケ（低木）群落が見られる。 ・ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。
50	15	4		・周辺にはホザキシモツケ群落、多くの草本類が見られる。 ・水溜りが多い。
100	22	4	カラコギカエデ1	・ホザキシモツケ（低木）が少なくなる。 ・草本類が少なくなる。 ・水溜りが多く、一部ぬかるみがある。
150	41	6	・ウスゲヒロハハンノキ1 ・ヤチダモ1	・地表はほとんど水面下となる（ヤチボウズのみ水面上）。 ・ぬかるみが多く、所々足の付け根まで容易にぬかるむ。 ・周辺には、低木や草本類が見られる。
200	52	3		・地表はほとんど水面下（ヤチボウズのみ水面上）。 ・ぬかるみが多く、所々足の付け根まで容易にぬかるむ。 ・低木と草本類がまばらになる。
250	13	1	・ヤチダモ2 カラコギカエデ1	・地表はほとんど水面下（ヤチボウズのみ水面上）。 ・一歩踏み出すごとに膝下ないし足の付け根までぬかるむ。 ・低木と草本類が少ない。

左岸

左岸肩から方形区 中心までの距離(m)	ヤチハンノキ (本)	ヤチハンノキ 立枯れ(本)	その他 (本)	備 考
25			(エゾノ)カワヤナギ15 (エゾノ)カワヤナギ倒・折木4 (エゾノ)カワヤナギ立枯れ1	・土壌が形成され、周囲に水溜り、ぬかるみ等は見られない。 ・周辺には、ヨシ・スゲ群落、ホザキシモツケ群落が見られる。
50	1	1	(ケ)ヤマハンノキ1 (エゾノ)カワヤナギ7	・土壌が形成され、周囲に水溜り、ぬかるみ等は見られない。 ・周辺には、ヨシ・スゲ群落、コアカソが見られる。
100	1		(エゾノ)カワヤナギ9 (エゾノ)カワヤナギ折損・半枯各1	・土壌が形成され、周囲に水溜り、ぬかるみ等は見られない。 ・周辺には、ヨシ・スゲ群落、その他の草本類が見られる。
200	3	4	ヤチダモ2	・地表はほとんど水面下となる（ヤチボウズのみ水面上）。 ・ぬかるみが多く、所々足の付け根まで容易にぬかるむ。 ・周辺にはヨシ・スゲ群落、ホザキシモツケ群落、その他の低木が見られる。
その他・左岸肩から距離150m程度から地表がほとんど水面下となり、所々膝下ないし太ももまで容易にぬかるむようになる。				

ヤチハンノキは、萌芽更新を繰り返し、1つのヤチボウズから多くの幹を伸ばしているものも全て測定した。

測線R-2 植生調査結果（中～高木対象）

右岸

右岸肩から方形区 中心までの距離(m)	ヤチハンノキ (本)	ヤチハンノキ 立枯れ(本)	その他 (本)	備 考
25	10	1	(エゾノ)カワヤナギ5	・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ1.5～2.0m程度）が見られる。 ・所々水溜りが見られるが、ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。
50	10	1	(エゾノ)カワヤナギ3 (エゾノ)カワヤナギ半枯れ8 (エゾノ)カワヤナギ立枯2	・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ1.5～2.0m程度）が見られる。 ・所々水溜りが見られるが、ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。
100	10	3		・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ2.0m程度）が見られる。 ・所々水溜りが見られるが、ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。
200	24	2 半枯れ 1	ヤチダモ4	・地表はほとんど水面下となる（ヤチボウズのみ水面上）。 ・ぬかるみが多く、所々足の付け根まで容易にぬかるむ。 ・周辺はホザキシモツケ群落、ヨシ群落が見られる。
その他	・右岸肩から距離70～80m程度の位置に幅4m程度の測線を横断する流路あり。 ・右岸肩から距離120m程度から表面水が多くなる。 ・右岸肩から距離130m程度の位置に幅3m程度の測線を横断する流路あり。			

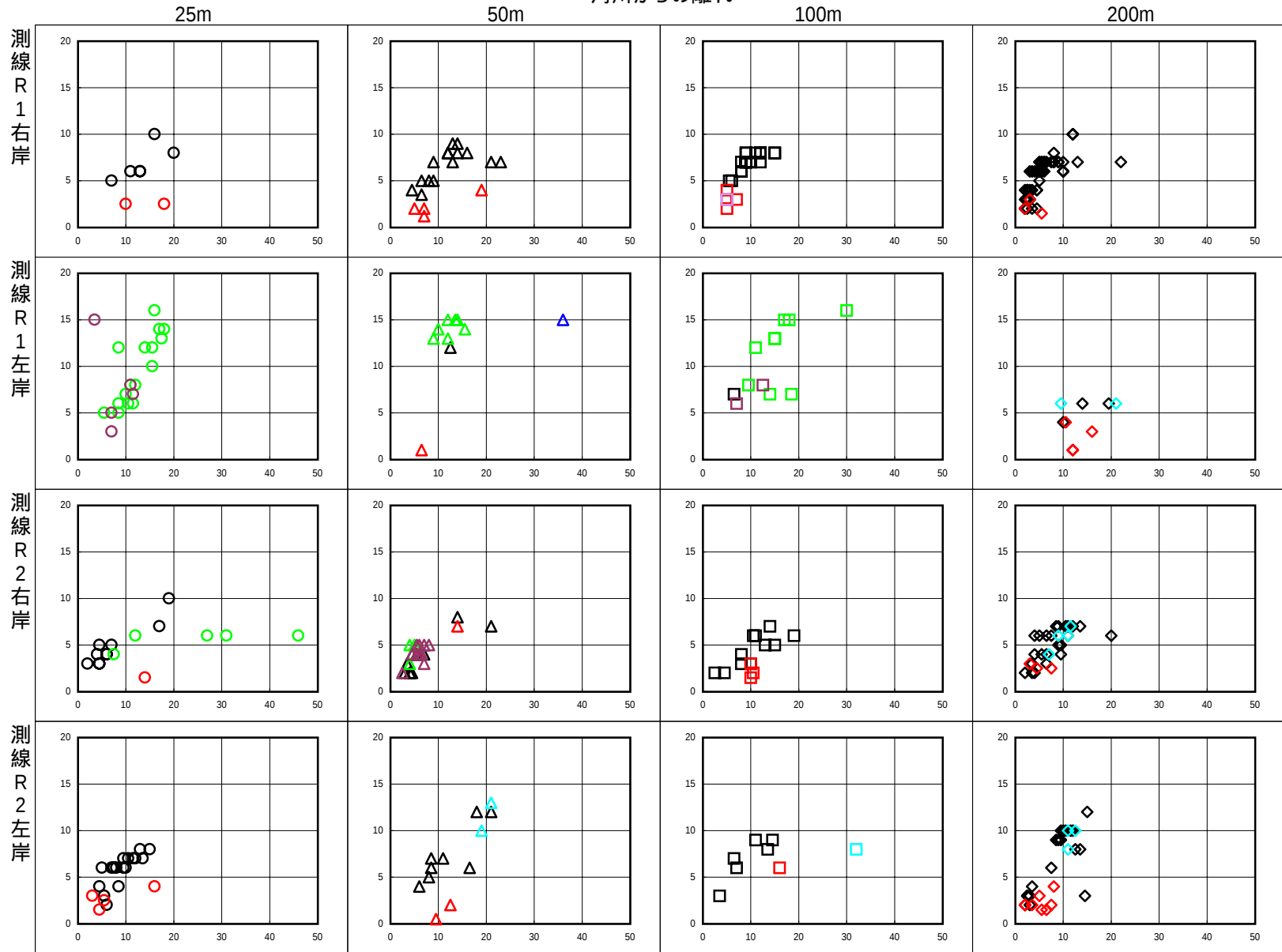
半枯れ：幹等に大きな欠損は見られないが、葉がなく、幹にしなりがない等の状態が見られたものを半枯れとした。

左岸

左岸肩から方形区 中心までの距離(m)	ヤチハンノキ (本)	ヤチハンノキ 立枯れ(本)	その他 (本)	備 考
25	17	2 半枯れ1 折損1		・ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。 ・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ1.5～2.0m程度）が見られる。 ・方形区内の所々に細い流路が見られる。
50	8	2	ヤチダモ2	・ぬからない比較的しっかりとした土壌が形成されている。 ・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ1.5～2.0m程度）が見られ、所々低木も見られる。 ・方形区内の所々に細い流路が見られる。
100	6	折損1	ヤチダモ1	・周囲には水面が多く見られ、足首くらいまでぬかるむ。 ・周辺にはヨシ、スゲ群落（高さ1.5～2.0m程度）が見られ、所々低木も見られる。
200	19	6 半枯れ2	ヤチダモ3	・地表はほとんど水面下となる（ヤチボウズのみ水面上）。 ・ぬかるみが多く、所々足の付け根まで容易にぬかるむ。 ・ヨシ、スゲ、低木はわずかで、水生植物が多く見られる。
その他	・左岸肩から距離60m程度の位置から水面が多く見られるようになる。 ・右岸肩から距離150m程度から地表がほとんど水面下となり、所々膝下ないし太ももまで容易にぬかるむようになる。			

ヤチハンノキは、萌芽更新を繰り返し、1つのヤチボウズから多くの幹を伸ばしているものも全て測定した。

河川からの離れ



凡 例

●	ヤチハンノキ
●	ヤチハンノキ立ち枯れ等
●	(エゾノ)カワヤナギ
●	(エゾノ)カワヤナギ立ち枯れ等
●	ヤチダモ
●	(ケ)ヤマハンノキ
●	カラコギカエデ

各グラフの横軸は胸高直径(cm)、
縦軸は樹高(m)である。

樹高と胸高直径の関係

